

## 第2回八千代町公共交通会議 議事録要旨

日 時：令和元年9月30日（月） 14：00～14：45

場 所：八千代町役場 本庁舎4階 大会議室

出席委員：21名

上野委員（会長）、小島委員（副会長）、鈴木委員（副会長）、中山委員、新井委員、  
諏訪（善）委員、須澤委員、秋葉委員、皆川委員（代理：高見専門官）、  
久保田委員（代理：酒井副参事）、白戸委員（代理：久松課長）、澤島委員、服部委員、  
廣瀬（秀）委員、沢木（健）委員（代理：沢木雅彦専務）、沢木（民）委員、青木（幹）委員、  
古宇田委員、中村委員、塚原委員、青木（良）委員

欠席委員：6名

廣瀬（賢）委員、山下委員、大滝委員、坂委員、加藤委員、諏訪（洋）委員

オブザーバー：3名

筑波大学生 榎本氏、佐野氏、県交通政策課 松田主事

事務局：3名

八千代町まちづくり推進課 馬場、斉藤、沢木

次 第：1 開会

2 あいさつ

3 議事

(1) 八千代町公共交通再編案について・・・資料1

4 その他

5 閉会

---

### 【会議内容】

#### 開 会

#### あいさつ

〔上野会長より、令和元年度第2回会議にあたっての挨拶〕

#### 新委員紹介

〔事務局より、新委員の紹介〕

### 【新委員】

一般社団法人 茨城県ハイヤー・タクシー協会 専務理事 服部 透 委員

#### 議事（1）八千代町公共交通再編案について

〔事務局より（1）八千代町公共交通再編案について説明〕

## 【質疑・意見等】

委員：現在、茨城急行さんの路線バスが八千代町で走っていると思いますが、どの再編案でも路線バスに与える影響があるのかなと考えております。その影響がもし、あまりにも大きいと路線バスの維持ができなくなり、恐らく廃止というような流れになるのではないかと思いますので、基本的には、路線バスを残していくために、「路線バスを使ってください」というような、PRが必要なのかなと感じております。あとは、現在運行している医療巡回バスの場合には、医療関係のみ利用可能ということでしたが、今度の再編案では誰でも乗れるようになるとなった場合に路線バスにどのような影響があるのか、それに対して検討または、予想をしていることがあるのか、わかれば教えてもらいたいと思います。

事務局：初めに、どのような影響があるのかというお話ですが、利用者に関しては高齢者がほとんどになるのではないかとこの風には予想しています。デマンド交通、コミュニティバスのどちらにつきましても、町内を運行させまして、茨城急行さんのバス停留所への結節をさせたいと思います。また、町としましても路線バスを残すために、そのバス停までこの公共交通を使っていただいて、そこからはバスを利用して、古河駅へ向かうといった流れも作っていきたいと考えていますので、そうした内容のPRや周知についても行っていきたいと思っています。

委員：デマンド交通やコミュニティバスの運行については、町外にでてもいいのですか。それとも町内の中だけですか。

事務局：今の時点では、デマンド交通もコミュニティバスも運行は町内だけで考えています。

委員：それであれば、結節点までということになるので、あまり影響はないのかなと思います。できればうまくダイヤをあわせて、増えればいいですね。

委員：八千代町がハブ的な形でやっていただければ、私たちも助かりますね。

委員：それはバス事業者の意見をよく聞いてもらった方がいいと思いますので、お願いします。

会長：他にございますか。

委員：利用車両について、再編案1のコミュニティバスは、ワゴンタイプの車両2台ということで、デマンド交通は、ワゴンタイプが1台で、もう1台はセダンタイプということですが、この違いは何なのか。デマンドは乗り合いでの運行だと思いますが、セダンタイプは心理的に乗り合いがしづらいのかなという部分があって、他の先進地でもいろいろとデマンドをやっているところに聞いてみますと、やっぱり乗り合いは心理的な抵抗が強いので、ワゴンタイプであれば心理的な抵抗も少ないと聞いています。あえて、コミュニティバスと違って、ワゴンタイプ1台、セダンタイプ1台としている理由というのは、何か意図があるのでしょうか。

事務局：まず、バスについてのワゴンタイプ2台ということですが、通常バスですとセダンタイプでまわっていると、乗り切れないというような状況が発生してしまうかと思いますが、ワゴ

ンタイプ2台という記載にさせていただきました。デマンド交通につきましては、完全な予約制ですので、ワゴンタイプとセダンタイプの1台ずつを用意して、狭い道、小回りが必要な道に行く場合は、セダンで対応する、予約が多く集まった場合はワゴン車で対応するというような形で、とりあえず始めさせていただきます、あとは予約状況に応じて、車両を変更したり、増加したりということをしていきたいと考えています。

委員：これは1便あたり2台を動かすということによろしいですか。それで予約状況や道の状況等に応じて車両を配車し、今後運行していく中で、台数増やすなり、そういったことも検討していくというようなことで、よろしいですか。

事務局：はい。その通りでございます。

会長：他にございますか。

委員：ひとつ参考までに、ある茨城県の市町村で、路線バスを廃止してデマンドタクシーを導入したのですが、路線バスを廃止した結果、どこのデマンドタクシー、コミュニティバスでも自分の行政区の中だけの運行ということで、その市町村は他から電車できて駅に降りて、自分の町にくる足が全て無くなったということもありますので、路線バスが無くなってしまおうと、そういう可能性がでてきます。市町村の中だけ運行、登録も町民だけとかいろいろな条件をつけると、他から来た人が一切使えなくなり、他県、あるいは他の市町村から八千代町にくる足が一切無くなってしまおうといった可能性もありますので、本当に路線バスをいかにして残すかということは、真剣に考えていってもらった方がいいと思います。その市町村は、最終的にはまた路線バスを導入しましたが、相当な力とお金等がいっぱい、かかりますので、そういうことが無いようにしていただきたいと思います。

会長：他にございませんか。

それでは、無ければ「(1) 八千代町公共交通再編案」につきまして、前回の会議でも、デマンド交通という意見が多数でありましたが、再編案② デマンド交通で進めていくことに、ご異議ありませんか。

〔異議なし〕

会長：異議なしの声がありましたので、「(1) 八千代町公共交通再編案」につきましては、再編案② (デマンド交通) のとおり承認されました。

**その他**

〔特になし〕

**開 会**